ウ　ゾーニング
(5) 森林の施業技術や管理技術
ア　全体技術と個別技術
イ　生産林の施業技術
ウ　環境林の管理技術
(6) 木材の収穫
ア　作業システム
イ　林道，作業道
ウ　伐採，造材，集材
エ　労働安全
(7) 森林の育成と活用の実践
3　内容の取扱い
(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　森林生態系の構造と多面的機能，目標林型，森林の施業技術や管理技術の仕組みを理解できるよう留意して指導すること。また，プロジェクト学習では観察や実験・実習を通して，科学的かつ創造的に学習を進め，森林科学に関する実践力が身に付くようにすること。なお，地域林業の実態や学科の特色等に応じて，適切な題材を選定すること。
イ　〔指導項目〕の(1)については，科目学習の導入として扱うこと。また，(7)については，(1)を踏まえ，(2)から(6)までと並行して，又はそれらを学習した後に扱うこと。
(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(1)については，農業科に属する他の科目と関連付けながら科目全体で科学的かつ創造的に学習を進めるように扱うこと。
イ　〔指導項目〕の(2)については，様々な森林のタイプ分けについてその意義を扱うこと。
ウ　〔指導項目〕の(3)については，森林生態系について図などを活用してわかりやすく丁寧に扱うこと。
エ　〔指導項目〕の(4)については，森林の機能と生態系サービスとの関係，目標林型，生態系サービスと目標林型との関係などを扱うこと。
オ　〔指導項目〕の(5)については，個別技術の意義や意味，技術の関連性と全体像，生産林に対して人間が関与する意義，環境林の空間利用を含めた取扱いなどを扱うこと。
カ　〔指導項目〕の(6)については，集材方法を考えた伐採，路網の設計，機材を使用する際の安全性などを扱うこと。

キ　〔指導項目〕の(7)については，森林の育成と活用に関する実践的な活動を行うこと。

第20　森林経営
1　目　標
農業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，森林経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 森林経営について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 森林経営に関する課題を発見し，農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
(3) 森林経営について持続的な経営発展へ向けて自ら学び，農業の振興や社会貢献について主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
2　内　容
1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。
〔指導項目〕
(1) 「森林経営」とプロジェクト学習
ア　森林経営に関するプロジェクト学習の意義
イ　プロジェクト学習の進め方
(2) 世界と日本の森林・林業
ア　世界の森林・林業
イ　日本の森林・林業
(3) 森林経営の目標と組織
ア　持続可能な森林経営
イ　森林経営の組織
ウ　森林経営の計画
(4) 森林の測定と評価
ア　森林の測定
イ　リモートセンシングの利用
ウ　森林の評価
(5) 森林・林業の制度と政策
ア　制度と政策の特徴
イ　制度と政策の体系
ウ　政策主体と近年の政策動向